

第三回STSフォーラム年次会合開会式  
安倍官房長官（総理大臣臨時代理） 基調講演

「誇り」（仮訳）

平成 18 年 9 月 10 日

第三回 STS フォーラム年次会合に際して、全世界からお集まりの高名な科学者、ビジネス界の指導者、政治家の皆様にお話申し上げる機会をいただき、大変光栄に思います。本日ここに集った私たち全てにとって、世界が直面する課題について重要な対話を始めることは、大変意義深いものであると信じます。

私たちの地球環境を保護するという日本政府のコミットの証として、私は今日、リサイクル・スーツを着用しています。とは言っても、小泉総理からの「お下がり」ではありません。このスーツの服地はペットボトルをリサイクルした原料から出来ているという意味で「リサイクル」であるということです。

皆さん、知識と富と権力、これらは強力な力です。知識と富と権力は、偉大な善にせよ、言葉には表せないような害悪にせよ、世界の歴史を形成してきました。今日、私たちは、知識と富と権力を発展させ、管理するある程度の叡智を手に入れましたが、そのことは私たちの誇りです。

私たちは、これらの力を我々の公共の利益のためにどのように使っていくかについて多くを学んできました。私たちは、科学研究という厳密な手法によって知識を探求することを学び、科学により、私たち自身、世界、そして宇宙の理解は驚異的な進歩を遂げました。

また、私たちは、創造的な経済やビジネスの制度によって富を追求することを学び、これらの制度のおかげで、何世紀も前には不可能だった溢れるほどの富を生み出しました。

さらに、私たちは、自由と人権の保護に権力が向けられるよう、統制された政治制度の中で権力を行使することも学びました。

私たちは、我々が学んできたこと、成し遂げてきたことに誇りを持っています。私は、この誇りは正当なものだと信じます。そればかりか、不可欠であります。誇りは、私たちを動機付け、導くものであるべきです。私たちは、科学にしる、ビジネスにしる、政治にしる、どんな分野を追求しようとも、一人ひとり、自分で誇りに思えるように務めるべきです。

しかし、誇りには恩恵があるとすれば、危険もはらんでいます。すなわち、公共の利益への貢献以外のことを誇る危険があります。私たちは、それぞれの功績に誤った誇りをもつ誘惑に直面しています。科学には、その公共の利益への貢献ではなく、知識だけを誇ろうとする誘惑があります。ビジネスには、その公共の利益への貢献ではなく、富だけを誇ろうとする誘惑があります。政治には、その公共の利益への貢献ではなく、権力だけを誇ろうとする誘惑があります。これらの誘惑は、強力で複雑であり、往々にして姿を偽って現れるだけに一層危険です。

私たちは、高度に複雑で、際限なく魅惑的な分野で働いています。科学の最も顕著な特徴は、発見をすればする程、より多くの知るべきことが出てくるということでしょう。新しい知識は、いつも一層複雑で、詳細で、わかりにくいものです。そしてそれとともに、知識だけを誤って誇る誘惑が姿を変えてついでにきます。新しい理解に到達することが大変困難で、大変魅力的であるからこそ、知識が我々の社会にどのような影響を及ぼすのかを考えずに、科学は知識のみを誇ることに誘惑されるのです。

ビジネスにも政治にも、姿を偽った誘惑があります。富の制度と権力の制度は複雑でダイナミックです。それぞれ別個でも充分難しいものですが、今日の世界では、両方の制度が相互に作用し発展していくがゆえに、一層複雑になっています。富と権力を行使することは大変な挑戦であるからこそ、富と権力がわれわれの社会にどのような影響を与えるか考えずに、富と権力を支配することのみを誇ることに誘惑されるのです。

知識の進歩だけ、富だけ、権力だけから来る傲慢、これこそが、誤った誇りへの誘惑です。私たちは、誤った誇りへの誘惑を克服するよう、互いに助け合わなければなりません。むしろ、協力から来る真の誇りを追求しなければなりません。科学とビジネスと政治の間の協力の中でこそ、私たちが真の誇りを持ちうる業績に到達するのです。私たちが、知識と富と権力を結合したときにこそ、真に誇りに思える貢献を社会に対してなすのです。

私たちは皆、科学とビジネスと政治の間の対話の価値を理解しています。私たちは、対話を通じて、情報交換し、新しいアイデアや見方に耳を傾け、より強いネットワークや関係を築くことが如何に重要であるかを知っています。

しかし、私は我々はもっと多くのことができると期待しています。対話を通じて、互いに刺激し合い、個々人が成しえたその先に向かっていくことを期待しています。対話を通じて、共に分かち合う成果、全ての人々のためになる成果、心から真の誇りをもてる成果を追求するよう、互いに想起し合うことを期待しています。

ご清聴、ありがとうございます。